

『顔タイプによる似合う服装と自分の好きな服装は同じなのか』

1. 動機

2年生の色彩とデザインの授業で顔タイプ診断を行った際に、私は顔タイプ診断で出た自分に似合うタイプの服装と自分の好きな服装が真逆だったため、先生にそのことを言ったところ、「顔タイプと好みの服装が同じ人は少ない。」と言っていました。そこで、それが本当なのか気になりました。また、多くの人ほどどのようなタイプの服装が好きなのか気になったため調べてみることにしました。

2. 調査内容・方法

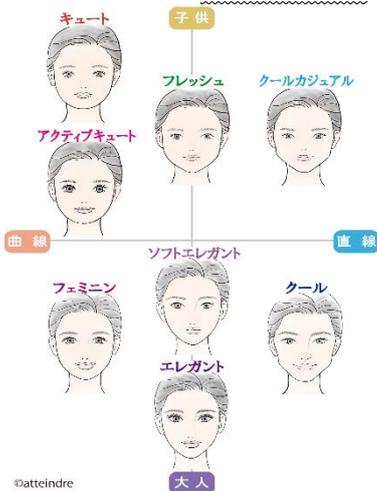
- ① 顔タイプ診断に興味のある人、または自分の顔タイプを知っている10代女性57人を対象として、スマートフォンアプリ（顔タイプ診断®セルフチェックシート）を使って、個々で顔タイプ診断をしてもらう。
- ② 自分の好きな（または、着たいと思う）服装はなにか下記の図1の中から一つ選んでもらう。
- ③ また、自分の顔タイプと好きな服装が違う人には、自分の顔タイプに合う服装を着たいと思うか○か×で答えてもらう。

図1



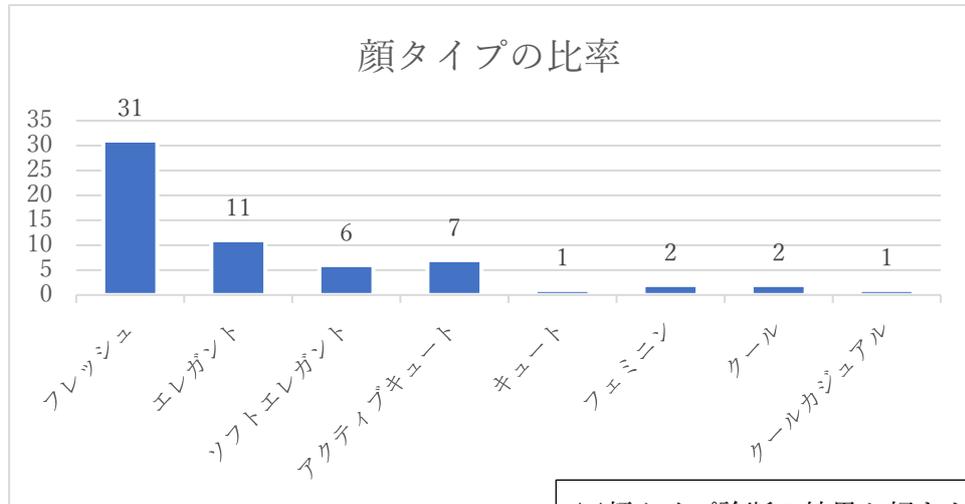
※顔タイプ診断は女性と男性で異なるため、今回は女性のみアンケートを行いました。

●**顔タイプ診断**とは…目や口などのパーツの大きさ、位置、形や顔の形状などの顔の特徴によって、似合うファッションのテイストや色を《クールカジュアルタイプ・フレッシュタイプ・キュートタイプ・アクティブキュートタイプ・ソフトエレガントタイプ・エレガントタイプ・フェミニンタイプ・クールタイプ》の8つに分類したもの。



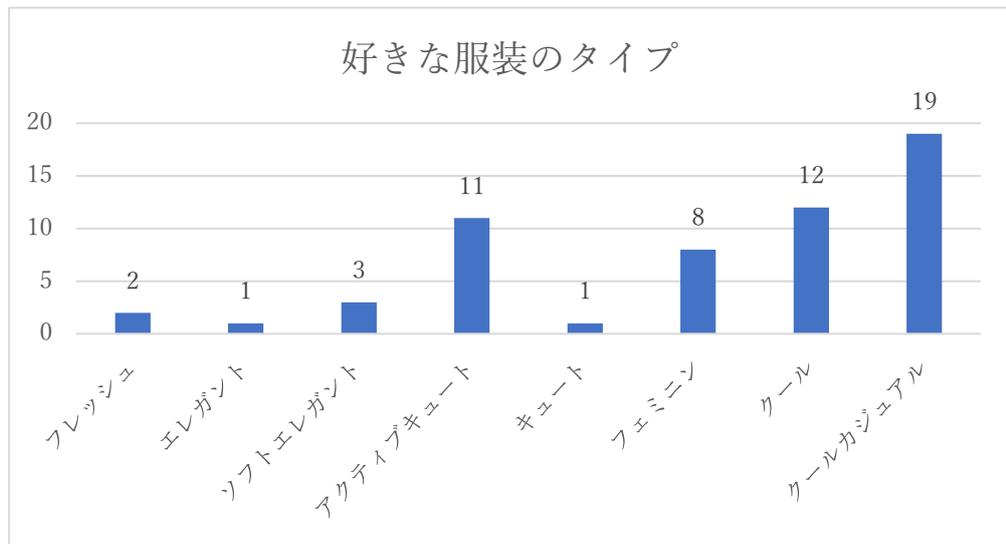
3. 結果

①の結果

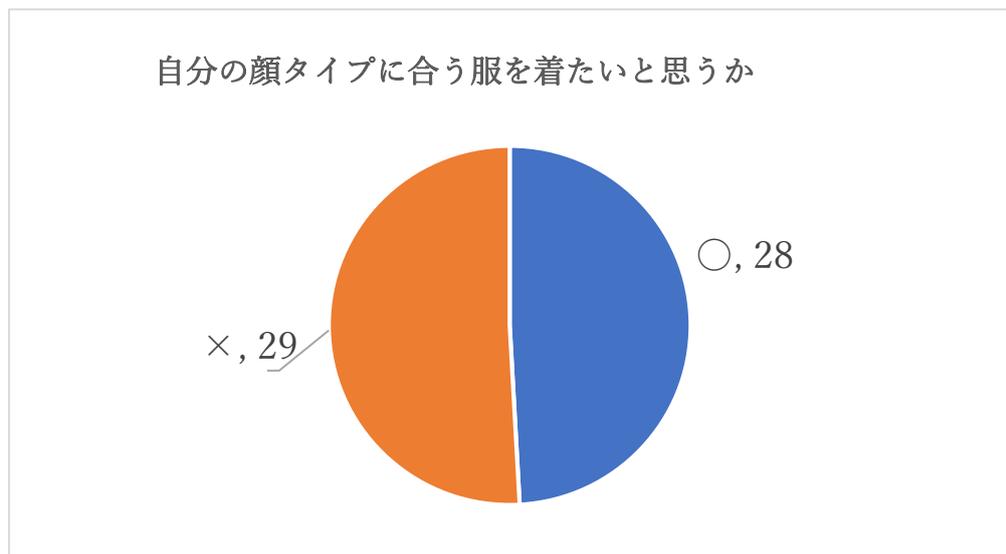


※顔タイプ診断の結果と好きな服装のタイプ
が同じだった人は、57人中6人

②の結果



③の結果



○の理由

→自分に似合う服装に挑戦したいと思うから

×の理由

→自分の好きな服を着たいから。

自分に似合わないと思うから（背が低い、人前では着ることができない など）

4. グラフを見て

- ①から ・フレッシュタイプの人が割合の半分を占めていた。
・キュートタイプとクールカジュアルタイプはほとんどいなかった。
- ②から ・クールカジュアルタイプが一番多かった。
・エレガントタイプやキュートタイプが多かった。
- ③から ・○と×の比率はほとんど1：1だった。

5. 考察

- ・個人で顔タイプ診断をしてもらったため、診断の結果に誤差がうまれた。
- ・①の診断した結果では、フレッシュタイプやエレガントタイプが多かったが、着たい服装ではフレッシュタイプやエレガントタイプの割合が大幅に少なかった。逆に②の診断の結果で少なかったクールカジュアルタイプやクールタイプは着たい服装では割合の多くを占めていたため、そこからほとんどの人は自分のタイプとは真逆のタイプの服装を好んでいると思った。

顔タイプ診断で割合の多かったタイプ

フレッシュ

エレガント



多くの人が着たいタイプ

クールカジュアル

クール



6. 感想

私はアンケートを取る前は自分が顔タイプ診断の結果と好きな服装のタイプは真逆だけれど多くの人もそうなのかと気になっていました。そこで実際にアンケートを取ってみたところ、多くの人は本当に自分の顔タイプと好きな服装が真逆だということがわかりました。

なぜそのようなことが起きるのかも気になり調べてみたところ、人間は自分自身にないものを欲する「ないものねだり」をします。具体的には自分が大人っぽい顔のエlegantタイプだった場合、自分にはない真逆のかわいらしい顔のキュートタイプの服装を着たいと思うようになるのです。

アンケートや調査を通して私は、「自分に似合うタイプの服装を着るよりも自分の好きな服装を着るほうが満足した気持ちでいられるのではないか」と考えました。そのため、私は似合う服装をするよりも、これからも自分の好きな服装をしたいです。

参考文献

顔タイプ診断・図1の写真：kanki-pub.co.jp

<https://www.atteindre700.com/facetype-faq/>

顔タイプ診断について：<https://www.vivi.tv/shindan-kaotype1-top/maturevery.com>